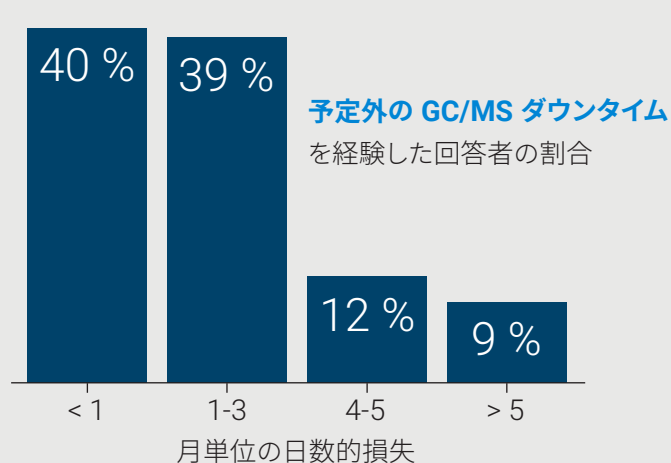


適切な GC カラムを 選択してダウンタイムを 減らすには



ダウンタイム：時間的損失はコスト上昇と同じ

2022 年 4 月に LCGC が実施した世界的調査の結果



平均 30 分間の分析でサンプルあたりの収益が 125 ドルの場合：

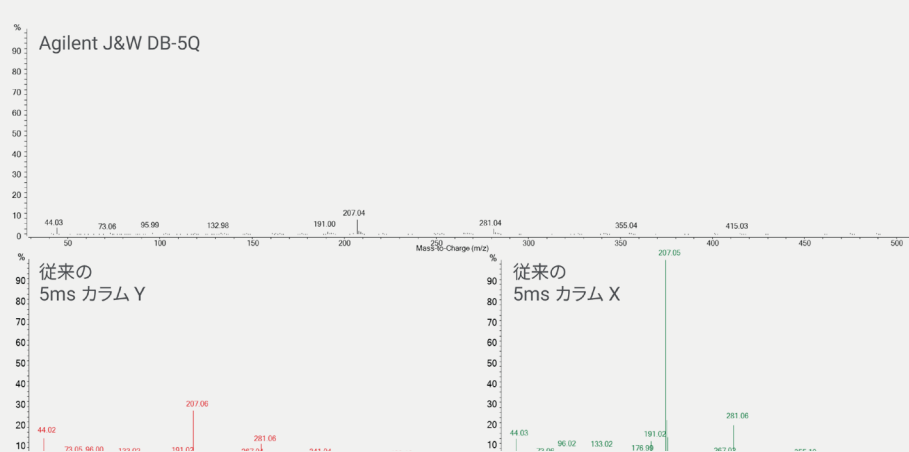
ダウンタイムによる収益減
250 ドル/時間
(機器 1 台あたり)

Agilent J&W 5Q GC カラムなら ダウンタイムを稼働時間へ

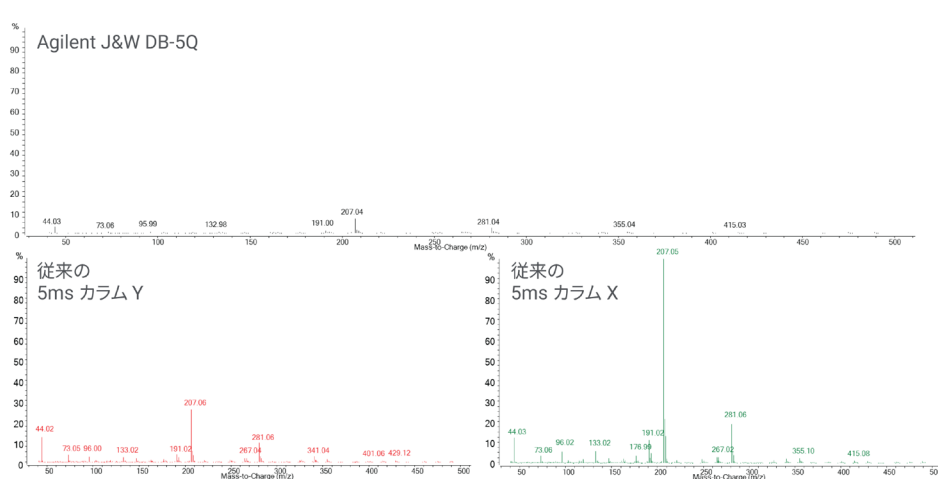


迅速なカラム交換

カラムのコンディショニングには数時間を要し、不要なダウンタイムが発生する可能性があります。一方、Agilent J&W 5Q GC カラムなら、2 時間未満で安定したベースラインにコンディショニングできるため、すぐに分析作業を再開してサンプルスループットを向上させることができます。



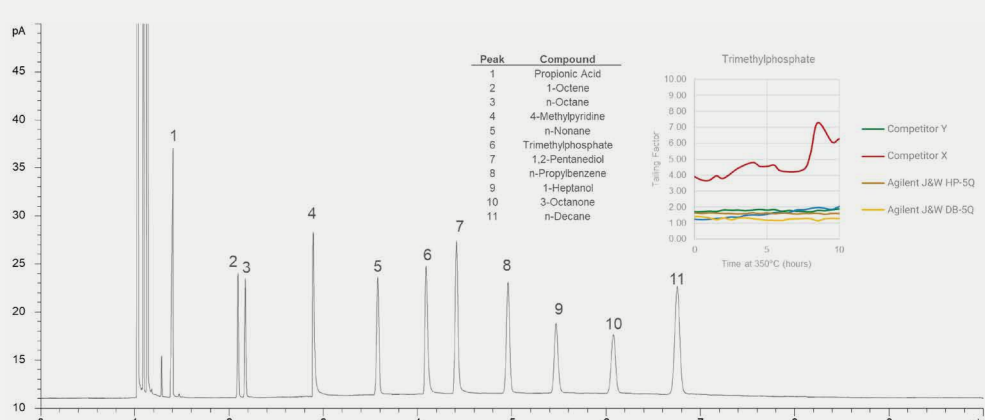
メンテナンスの必要性が最小限に



固定相は高温にさらされると劣化し、干渉シロキサン環状イオンが発生する場合があります。5Q GC カラムを使用すると干渉ブリードイオンが大幅に減少するため、イオン源の最高性能を維持できます。

カラム交換頻度が減少

問題のある成分を分析すると、クロマトグラフィー性能がすぐに低下し、再分析やカラム交換のコストが発生します。5Q GC カラムは、高温での作業でも高い耐久性とデータ品質を実現できるように設計されています。



Agilent J&W 5Q GC カラムなら、四重極への最適な成分移送が可能であるため、最高レベルの分析結果を取得し、安定的な運用を維持できます。

詳細はこちら：[agilent.com/columns/jw-5q](https://www.agilent.com/columns/jw-5q)